

番号：140128

国名：ラオス

担当：人間開発部基礎教育第一課

案件名：コミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクトフェーズ2 中間レビュー調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年5月上旬から2014年6月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.70M/M、合計 1.20M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	21日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：4月16日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点

(計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国/類似地域	ラオス/全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：
本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は

- 本件への参加を認めない。
(2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

ラオス国は2020年までに後発開発途上国からの脱却を目指しており、貧困の根本的解決に向けた優先事項の一つとして教育の普及・改善を位置付けている。教育スポーツ省(MOES)では2015年までに「万人のための教育(EFA)」を達成すべく、「公平さとアクセス」、「質と妥当性」、「教育行政とマネジメント」を3本柱とした教育改善に積極的に取り組んでいる。これら施策が功を奏し近年になって、初等教育の純就学率(2000年77.3%から2012年に95.2%、出典:UNDP 2013)が改善されてきたが、都市部と農村部の教育格差は依然として大きく深刻な状況となっている。この背景には、季節労働や児童労働など貧困を構成する諸問題や教育の重要性に対する認識の低さなどがあり、これに加えて教員数の絶対的不足、教員の資質・能力の低さや、学校施設の不備、教材・教具不足などが教育普及の阻害要因として挙げられている。また、これら問題に取り組むための教育行政の能力や教育予算は未だ十分でなく、特に農村部では、保護者や寺院といったコミュニティからの財政支援を受けつつ運営を行っている小学校も多い。これに対し、MOESは村落教育開発委員会(VEDC)を通じた学校改善計画立案へのコミュニティ参画促進や教育予算の拡充等を図りつつ教育改善に取り組んでいる。

こうした背景のもと、JICAは学校改善計画の立案・実施プロセスへのコミュニティ参画を通じた学習環境・就学状況等の改善を目標として、純就学率がとりわけ低い南部3県(サラワン県、セコン県、アッタプー県)の6郡90校を対象に技術協力プロジェクト「南部3県におけるコミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクト」(CIED1、2007年から4年間)を実施した。

同事業では、VEDCを主体とした学校改善計画(SIP)策定・実施に係る一連のプロセスの導入と実践に係る技術支援を行い、対象校における学習環境や教育指標の飛躍的な改善を達成した(純就学率:プロジェクト開始時73.4%→プロジェクト終了時98.4%、中退率:4.1%→0.7%に低下など)。さらに現場での経験や具体的なアプローチを政策面に反映すべく、他ドナーとも連携し、ラオス政府が規定する教育の質の基準(EQS)の策定や、その普及のための研修開発を支援し高い評価を得た。

一方で、CIED1終了後の課題としては、県教育スポーツ局(PESS)や郡教育スポーツ事務所(DESB)といった地方教育行政の能力強化を通じたCIED1の成果の持続性の確保と、その面的拡大が挙げられており、MOESはPESSやDESBの能力強化の研修・指導体制について整備していく必要が謳われている。さらに財政面では、MOESが学校改善のために2011年度より「学校補助金(SBG)プログラム」を全国規模で導入したが、SBGが学校改善に資するためには、現場レベルでSBGとSIPが一体となって運用されることが不可欠であり、VEDCやこれを支援するPESS/DESBへの能力開発も喫緊の課題となっている。

かかる状況において、ラオス政府は、初等教育のアクセスと質の改善に向けて自立的かつ持続的に取り組んでいくために、CIED1の成果を拡大・発展及び中央・地方教育行政の強化を目的とした「コミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクトフェーズ2」(CIED2)を我が国に要請してきた。これを受けてJICAは詳細計画策定調査を実施し、プロジェクト目標及び成果を次の通り設定し、2012年9月から4年間の予定でCIED2を開始した。

【プロジェクト目標】

対象郡における初等教育のアクセスと質が改善される

【成果】

1. MOESにおけるEQS達成に向けた研修の計画・実施能力が強化される
2. EQS達成に向け、現状分析に基づいた対応策がPESSとDESBにより検討され、実施・提案されるようになる
3. SIP実施に対するPESSとDESBの支援能力が強化される
具体的には、SBGとSIPの一体運用のためにEQSに基づく学校運営を行うための研修モジュール(EQS研修モジュール)の開発支援、EQS研修を踏まえた学校運営に対するPESS及

び PESB による支援能力の強化が実施されている。これまでに

- ・チーフアドバイザー業務／政策・研修計画専門家（2012年10月～2014年3月、2014年5月以降再派遣の予定）
- ・「教育分析/業務調整」専門家（2012年10月～派遣中）
- ・「地方教育行政」専門家（2013年度に短期派遣、今後も1～2MM程度の短期派遣を毎年行う予定）

による活動が行われている。

今回実施する中間レビュー調査は、ラオス政府と合同で CIED2 プロジェクト活動の実績及び成果を確認・分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について合同評価報告書に取りまとめ、合意することを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価 5 項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間（2014年5月上旬～5月中旬）

- ①既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存の PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価 5 項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P 機関、その他ラオス側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（英文）を作成する。
- ④対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間（2014年5月中旬～5月下旬）

- ①JICA ラオス事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に基づいた評価手法について説明を行う。
- ③ラオス側 C/P（教育スポーツ省就学前・初等教育局）と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。留意点は次の通り。
 - ・EQS 研修の全国的展開のために、技術協力にとどまらず、円借款（PRSO（Poverty Reduction Support Operations）：世界銀行・EU との協調融資）や GPE（Global Partnership for Education）等の外部資金との連携が進められているところ、インパクト発現の観点から、これら連携事業による本プロジェクトの面的拡大の状況についての情報を収集する。
 - ・ラオス政府全体での予算不足が指摘されている中、教育セクターへの予算配賦にも遅れが見られているところ、先方政府側の予算確保の不確実性がプロジェクトの阻害要因となる可能性について情報を収集する。
- ④収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤国内準備並びに上記②及び③で得られた結果をもとに、他の調査団員及びラオス側 C/P 等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。
- ⑥調査結果や他団員及びラオス側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑦評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑧協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑨現地調査結果の JICA ラオス事務所等への報告に参加する。

(3) 帰国後整理期間 (2014年6月上旬～6月中旬)

- ① 評価調査結果要約表 (案) (和文・英文) を作成する。
- ② 帰国報告会に出席する。
- ③ 中間レビュー調査報告書 (和文) について、担当分野のドラフトを作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は (1) ～ (3) のすべてとする。

- (1) 評価報告書 (英文)
- (2) 担当分野に係る中間レビュー調査報告書 (案) (和文)
- (3) 評価調査結果要約表 (案) (和文・英文)

上記 (1) ～ (3) については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」 (<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます (見積書に計上して下さい)。

航空経路は、成田⇒バンコク⇒ビエンチャン⇒バンコク⇒成田、もしくは、成田⇒ハノイ⇒ビエンチャン⇒ハノイ⇒成田を標準とします。季節変動を踏まえ、より経済的、効率的な航路としてください。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年5月11日～2014年5月31日を予定しています。

本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しており、そのため本業務従事者が単独で活動する期間があります。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 協力企画 (JICA)
- ウ) 評価分析 (コンサルタント)

③ 便宜供与内容

当機構ラオス事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舍手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供 (機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。)

エ) 通訳備上

英語を解さないC/Pと協議する場合に限り、英語⇄ラオス語を備上する予定です。

オ) 現地日程のアレンジ

現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及びC/Pの同行

(2) 参考資料

- ①本業務に関する以下の資料を当機構人間開発部基礎教育第一課（TEL:03-5226-8312）にて配布します。
 - ・ 専門家現地業務結果報告書
 - ・ 専門家業務完了報告書
- ②本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。
 - ・ プロジェクト概要 (<http://www.jica.go.jp/project/laos/013/outline/index.html>)
 - ・ プロジェクト基本情報
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/1E4CE7F93E89868449257AD80079DC01?OpenDocument&pv=VW02040104>

(3) その他

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上